

2021年2月8日

支 部 長 各 位

公益社団法人全日本病院協会
会長 猪口 雄二

新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保対策会議
「新型コロナウイルス感染症患者の病床確保等に向けた具体的方策」について

平素より当協会の事業活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年1月に日本医師会・四病院団体協議会、全国自治体病院協議会により立ち上げました「新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保対策会議」において、このたび、「新型コロナウイルス感染症患者の病床確保等に向けた具体的方策」をとりまとめました。

同「具体的方策」は、都道府県医師会・都道府県病院団体及び支部による協議会の設置を軸として、受入病院・病床の確保、後方支援病床の確保、宿泊療養・自宅療養の充実及び地域の医師・看護師等の派遣をその内容としております。

各支部におかれましては、新型コロナウイルス感染症の対応に際し、既に都道府県医師会や都道府県病院団体と協力され、緊密な連携体制を構築されておられることと存じますが、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床確保につき、なお一層のご対応を取っていただきたくご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

おって、各都道府県医師会に対しては、上記資料が日本医師会長より送付済みであることを申し添えます。

【送付資料】

- 「新型コロナウイルス感染症患者の病床確保等に向けた具体的方策」
(令和2年2月3日 日本医師会・四病協団体協議会・全国自治体病院協議会)